



長池公園ってどんなところ?

長池公園は、農業用のため池としての役割を担っていた「長池」と「築池」を中心に配し、これらを取り囲むように小川や湿地、そして広大な雑木林が残された、面積 20ha の自然保全型公園です。公園の名前の由来となった長池には淨瑠璃姫の伝説も残されています。

里山文化の継承と創造

「里山文化の継承と創造」それが長池公園のテーマです。この地の風土を育んできた人々が長年にわたって受け継いできた雑木林と長池・築池の二つのため池、そして、四谷見附から移築された長池見附橋と、新たにデザインされた姿池の調和が、都市における人と自然の新しい共生の形を象徴しています。



創意工夫の公園管理

長池公園は地域の人々の憩いの場であるとともに、貴重な自然保全の場でもあります。公園を美しく保ち、来園者が快適に過ごせるよう努める一方で、里山の景観や希少生物の保護にも力を入れています。また、園内の多様な自然環境を保全するために、農地や山林の伝統的な管理手法に加え、時代に沿った新しい技術の導入にも積極的に挑戦しています。



園内 MAP



地域との協働

公園をフィールドにした観察会やワークショップ、自然素材を活用したものづくりイベントの他、スクールインター、ンや総合学習の受け入れ、教育研究機関との協働を積極的に行い、専門スタッフが活動の相談やアドバイスの対応にあたっています。

